

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1290500030		
法人名	有限会社 シーシー商会		
事業所名	グループホーム のどか		
所在地	千葉県緑区誉田町1丁目111-1		
自己評価作成日	令和 3年 2月15日	評価結果市町村受理日	令和3年5月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/
----------	---------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと		
所在地	千葉県千葉市稲毛区園生町1107-7		
訪問調査日	令和 3年 3月 5日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設理念を念頭にし、去年から続いている新型コロナウイルス対策として職員の健康管理・衛生管理を徹底した上で、施設利用者様には今まで以上に健康面や心理面においても職員全員でケアを心掛け安心して笑顔で生活して頂けるよう最善を尽くしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

食事は職員の手作りで、季節感のある食事を利用者に向けた食分量、形態で提供しており、必要に応じて食事介助もおこなっている。行事食を楽しんだり、外食の機会も作っている。「安心と尊厳のある生活を支援する」という理念のもと、利用者一人ひとりを尊重した支援に取り組んでおり、管理者、職員が連携して対応出来るチームづくりを進めている。規則正しい生活を支援することで、健康を取り戻し、落ち着いて暮らせるようになった利用者もおり、理念の実践に向けて支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員一人ひとりが事業所理念と共に、利用者様が安心して生活できるよう支援に努めている	「安心と尊厳のある生活を支援する」という理念のもと、利用者一人ひとりを尊重した支援に取り組んでいる。管理者、職員が連携して対応出来るチームづくりを進めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事の困難が続いていますが、今後も積極的に参加継続に努めていきます	初詣や節分、祭りなど季節の行事に参加している。運営推進会議には地域包括支援センター、自治会役員、民生委員など地元の人々が参加している。また、定期的なボランティアの訪問は利用者にとって楽しみとなっている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域行事の困難が続いていますが、今後も積極的に地域の皆様にご理解頂けるよう努めていきます		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ感染を配慮し通常とはいきませんが、電話等での報告また気付いた事の意見を頂いています	会議は事前に書面や電話で案内し、会議後も経過の報告をするなどしている。夜間の防災対応についても会議で話し合った。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	各担当の方に報告し協力関係を築きながら進めています	行政とは電話やFAX、時には窓口へ出かけ報告相談をしている。利用者の支援方法についても、相談できる関係性ができている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設全体で身体拘束のない取り組みを行い定期的な研修により再確認している	外部の研修に毎年参加しており、参加した職員が資料をもとにミーティング時に内部勉強会をおこなっている。最近では、言葉での拘束について話し合った。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	施設全体で虐待を見過ごさないよう防止し定期的な研修により再確認している		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	必要性のある利用者様については、地域包括支援センター等を活用し支援出来るよう取組んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が利用開始の際の疑問や不安を十分に説明しご理解、納得を心掛けている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様の意見を伺い又、ご家族等の意見交換により全員で共有し向上に努めています	利用者からは居室清掃時など職員と二人になる機会に、話を聞くようにしている。家族には来訪時に聞くようにしており、人によっては後見人に聞くこともある。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	いつでも意見を言える雰囲気をつくり情報を共有し働きやすい環境を整えている	会議の日程、時間は特定しないで、食事時など日常的に話し合っている。連絡ノートを使い、職員全員で内容を共有できるようにしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が働きやすい環境を整え各自が向上心を持てる職場作りに努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修でケアの向上を図り、外部研修へ参加する機会を持てるようにしている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で同業者との交流が困難な状況ですが今後も情報交換を行いネットワーク作りに努めていきます		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に利用される方の情報収集を行い、本人・ご家族の不安や要望を聞き安心して過ごして頂けるよう信頼関係作りに努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の話をよく聞かせて頂き、不安や要望を解消できるサービス提供に努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族の状況を把握した上で必要とされてる支援を提供できるよう努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人ひとりに応じた支援を行い生活を共にする者同士家族のように暮らせる関係作りを心掛けています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族のように接することを心掛け、家族同様の人間関係で支えられるよう努めています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られた方が楽しく過ごせ安心出来る施設であるよう努めています	手紙や写真のやり取りを支援している。また、地域が利用者にとって馴染みのある場所となるように、新たな関係づくりにも取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係性を把握し良好な関係であるよう配慮を心掛けています		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用で築いてきた関係を大切に引き続き相談に応じて支援を提供できるよう努めています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様一人ひとりの思いを把握するよう努め、言語表現の困難な利用者様の思考表示も見逃さないよう支援しています	日々の支援の中で変化を見逃さないように心がけ、思いや意向の把握に努めている。知人との外出が気分転換になったという話などを聞き出し、支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の生活歴や本人、ご家族等から聞き取りをしフェイスシートを作成し安心して生活出来るよう検討し支援に努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の過ごし方から心身の状態を把握し介護記録を活用しながら一人ひとりに合わせた対応が出来るよう努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題やケアについて検討が必要な時は、話し合い状況に合った支援を行っています	介護計画は本人、親せき、後見人などの話を参考にして作成している。毎月モニタリングをおこない、次の計画に活かすようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護記録を行い常に職員で共有し、ケアプランの見直しに活かしています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々生まれるニーズに合わせ柔軟な支援、サポートに努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で困難な状況が続いていますが、引き続き地域の協力の下でボランティアの方々による行事、地域行事、消防訓練、運営推進委員会の開催や参加に努めています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に二度の訪問診療で健康状態を把握し急な体調の変化にも対応出来るよう協力医と関係を築いています(歯科医は週一回)	ホームの協力医、歯科医が定期的に訪問して、利用者の健康管理をおこなっている。専門医の受診は職員が同行している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の健康管理に努め情報交換を行い適時適切なアドバイスを受けています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医師や看護師に情報交換や相談し、利用者様が安心して治療でき早期に退院出来るよう協力関係に努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	終末期のあり方では研修を行い医師と連携し取り組み、ご家族には早い段階で説明を行っている	入居時に看取りは実施実施していないことを説明している。終末期に入る前に、医師や家族、行政担当と連絡を取り合い、職員とも情報を共有して、適切な対応ができるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時の訓練や研修を行い迅速な対応が出来るよう実践力を身に付けるよう取り組んでいます		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練や災害訓練時には地域の協力を得たり積極的に参加させて頂いています	年2回の消防訓練は必ず実施している。消防署の立ち合いもあり、アドバイスを受けている。介護度の高い利用者の避難方法にまだ課題があると考えている。	昨今は想定外の災害が多く発生しており、今後ますます地域の協力体制が必用と思われる。より一層の連携が期待される。

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりを尊重した声掛けや対応 食事、入浴、排泄など個人のペースや羞恥心への配慮を心掛けています	利用者の尊厳を尊重した呼びかけ、プライバシーに配慮した排泄支援、入浴支援に心がけている。また、介護計画書など個人情報は外部の目に触れることがないように、鍵のかかるロッカーで保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の意思表示を見逃さないよう傾聴し、一人ひとりの希望が叶えられるよう支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様との時間を大切に一人ひとりの要望にそった支援を心掛けています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	二ヶ月に一度、訪問理容を利用し常に利用者様の身だしなみに配慮し要望にそった支援を心掛けています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各行事に合わせ献立を工夫楽しんで摂取できるよう取組んでいます	担当職員が季節の献立、栄養バランスを考え調理し、彩りよく盛り付けている。利用者個々に合わせた食事量、形態で提供し、摂取状況により声掛けや介助をしている。行事食を楽しんだり、外食の機会も作っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの体調を把握し、食事、水分量の管理 や食事形態など適切な食事提供に取組んでいます		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアを実施し口腔内の異常や誤嚥性肺炎の予防にも努めています		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりの排泄のタイミングを把握し声掛け誘導している、トイレ内で排泄が出来るよう進めている	夜間だけおむつを使用する利用者について、トイレに誘導することでおむつが外れた事例があるなど、自立に向けて支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの水分摂取量に気を配り排泄チェック表を用いて健康管理に努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	一人ひとりが気持ちよく安全に入浴できるように配慮し個々に添った支援をしている	週2回の入浴を基本として支援している。入浴時には身体状況や、ひげ、爪なども確認してケアしている。また、話をしながら楽しく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は、個々の居室 共有スペースで自由にくつろいで頂き夜間は室温管理や入眠状態を確認し安心して眠れるよう支援している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬情報に基づき、服薬時飲み込むまで確認し誤嚥や誤薬防止にも職員全員で取り組んでいる		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日々の会話などから個々の希望に添った気分転換やアセスメントプランを用いて支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍で困難な状況ですが、外出困難な利用者様もおります 他の利用者様は、状況勘案し外出できるよう支援しています	近隣の公園やスーパーマーケットなどに出かけるようにしている。また、庭で日光浴をすることもある。なかなか外出ができない利用者への支援方法を考えているところである。	

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理出来ない利用者様が多い為事務所で保管しています 利用者様の希望により自ら買い物ができるよう支援しています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様の希望に応じて見守り支援を行っています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に合わせて心地良く生活出来るよう考慮し花や絵を飾ったり趣味に合わせて雰囲気作りの取り組みをしています	リビングにはテーブルやイスの他にソファも置いて寛げるようにしている。また、洗面、トイレなどは定期的にチェックをして清潔保持に努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにテレビやソファなど設置しパズルや折り紙、読書 自由にくつろげる空間作りをし見守り支援を行っています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室にテレビを設置し個々の趣味に合わせて入居後に購入支援など希望に添った居心地の良い居室作りを目指しています	利用者は職員と相談しながら好みの部屋作りをしている。テレビや家具は安全にも配慮しながら設置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりが自立した生活が送れるよう家具の配置など配慮して安全を第一に考えた環境作りを目指しています		

【評価機関】

特定非営利活動法人コミュニティケア街ねっと